

今ここに わたしはいて
今ここに わたしは歌う

僕らの旅がはじまる

～オープニング～
今、ここに

I. Ensemble Kiika

日本の歌、日本の響き

鳥かねもん勸三郎、天満の市は、ていんさぐぬ花 他

II. Ensemble Clair,Kyoto

マジャールの歌、マジャールの響き

Köszöntő 祝詞、Esti dal タベの歌

A 150. Genfi zsoltár 詩篇第 150 他

III. Ensemble Kiika & Ensemble Clair,Kyoto

石若雅弥が描く「こころの色」

夕暮、こころの色、たゆまずに、もっと向こうへと

IV. Ensemble Kiika & Ensemble Clair,Kyoto

三善晃が描く「唱歌の四季」

朧月夜、茶摘、紅葉、雪、夕焼小焼

Ensemble
Kiika

Ensemble
Clair,Kyoto
ジョイントコンサート

指揮 栢森和重 ピアノ 佐山絵美

2017年

8月19日(土)

14:00 開演 / 13:30 開場

サラマンカホール

岐阜市藪田南5丁目14番53号

入場料

一般 1,000 円

高校生以下 500 円

主催 Ensemble Kiika

後援 岐阜市教育委員会 公益財団法人岐阜県教育文化財団

問合せ先 三田村智子 (090-1785-7362) <http://kiika.yu-yake.com/>

チケット取り扱い

ふれあい福寿会館 2F サービスセンター (TEL 058-277-1110)

お願い

未就学児の入場はご遠慮ください

出演者への花束、贈り物等は

謹んでご辞退申し上げます

岐阜と京都、指揮者栢森和重を通して繋がった縁。人数も、活動や演奏のスタイルも異なるが、音楽溢れる歌、豊かなアンサンブルをめざすのは同じ。異なる2つの団が一緒に奏でるハーモニー、違うからこそ生まれる豊かな音楽にご期待下さい。



Ensemble Kiiika (あんさんぶる きいか)

岐阜市市橋を拠点に活動しているアカペラ(無伴奏)を中心とした女声アンサンブルグループ。関西で活躍の指揮者栢森和重を招き、2012年9月に結成以来、月2回の練習に県内外各地から集まる。現在20名。「真摯に音楽に向かい、いい『うた』を歌い、多くの人に届けたい。そこに喜び楽しさを見出していきたい」と、演奏会を中心に据えて活動している。毎夏の定期演奏会の他、羽島ランチタイムコンサートや文化祭への出演、地元の精華中学校音楽部との合同演奏など、意欲的に活動している。

I.日本の歌、日本の響き

間宮芳生は東京音楽学校(現、東京芸術大学)を卒業後、作曲家の林光、外山雄三とともに「山羊の会」を結成して「日本の響き」を追求して、管弦楽曲とともに多くの合唱作品も作曲している。今、合唱界の超売れっ子の信長貴富が編曲した沖縄民謡「ていんざぐぬ花」と間宮が同声合唱のために書いた作品を対比的においた。

III. 石若雅弥が描く「こころの色」

石若雅弥は大阪府堺市の出身。京都市芸術大学で作曲を学んで、関西を中心に活躍している。このステージでは谷川俊太郎の詩で統一感をもたせ「夕暮」と女声合唱とピアノのための「こころの色」から「こころの色」「たゆまずに」「もっと向こうへと」を組み合わせて、石若雅弥の心象を描き出した。



指揮 栢森 和重

1989~1997年全日本合唱コンクール連続金賞など全国的に注目を集めてきた合唱団「うたおに」の指揮者。オーケストラを伴う大規模な合唱作品も多く手がけ、これまでに、愛知室内オーケストラ、奈良交響楽団等を指揮。2010年国民文化祭京都プレイベント少年少女合唱フェスティバルにおいて特別講師および合同演奏を指揮。2011年けいはんなフィルハーモニー管弦楽団の演奏会へ客演指揮者として招かれる。現在7団体の音楽監督、常任指揮者の他、オペラ、吹奏楽、コンクール審査員、指揮法講習会の講師なども務める。指揮法を小泉ひろし氏、合唱指導法、声乐を羽根功二氏に師事。

Ensemble Clair,Kyoto (アンサンブル クレール 京都)

2010年3月に結成された女声声楽アンサンブル。京都市内を拠点に、現在10名で活動中。クレール(clair:明るい、透明な)の名前のとおり、透明感のあるハーモニーと「ほっとできる音楽」をめざしている。アカペラを中心に、ルネサンスから近現代の合唱作品、ポップスまでレパートリーは幅広い。2016年より、指揮者兼音楽アドバイザーとして栢森和重を迎え、さらなる技術の向上と共に、すぐれた作品をより身近に聴いて頂くための「華なり(はんなり)コンサート」シリーズを開始。大きな注目を集めている。



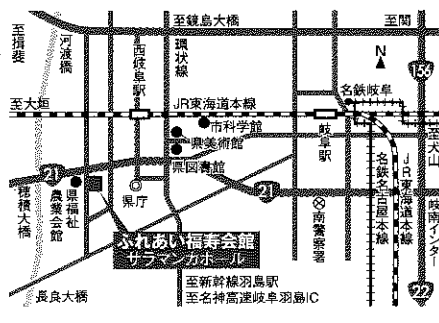
II.マジャールの歌、マジャールの響き

ハンガリーの人たちは自分たちのことをマジャールと呼ぶ。ハンガリーを代表する作曲家のコードーイは1才がいのバルトークとともにハンガリーの村々を回り、民謡や踊りを収集・録音する作業を続け、「マジャールの響き」を追求して、民謡に基づく合唱や管弦楽曲を作曲していった。彼のこうした営みは世界中の音楽家に影響を与えた。コードーイの作品を中心にこのステージを構成した。

IV. 三善晃が描く「唱歌の四季」

三善晃は20世紀の日本を代表する作曲家。管弦楽曲の分野でその本領を発揮したが、多くの合唱曲も残した。「唱歌の四季」には多くの版があり、今回の同声(童声・女声)3部合唱と1台(2手)ピアノ版に加え、混声4部合唱と2台ピアノ版、2台ピアノ版が出版されており、他にも未出版の版がいくつかある。馴染み深い唱歌が三善晃の心の奥深くでどんな風に響き、それをどう聴きとったのか。興味深い作品である。

交通アクセス



アクセス JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
無料駐車場(約700台分)あり